法人名ではなく、フリースクール等 施設名を記入してください。

各項目に必ずチェックして ください。

在籍校への提供同意が得られた表についてのみチェックしてください。

「サポートプランの東京都等 への提供」に同意がない場合、 提出はできません。

保護者署名欄は全て記入してください。 ※都への提出時には、「お子様氏名」 「保護者氏名(自署)」欄が見えないよ うに加工してください(画像内網掛け部 分が該当)。

※在籍校名、学年、お子様との続柄はそ のままで問題ありません。

東京都フリースクール等 支援事業

サポートプラン作成に関する同意書

要領第1号様式

<u>(無験名</u> フリースケール○○)では、東京都が実施する「東京都フリースクール等支援事業※」に申請し、<u>お子様</u>

に対し「サポートプラン」の作成及び同プランに基づく支援を行っていきたいと考えています。

このサポートプランは、お子様の状況をしっかりと把握し、お子様に対する支援の方向性について記載することで、お子様一人ひとりの支援をさらに充実させていくことを目的としています。

また、作成したサポートプランは、御希望に応じて在籍する学校と共有することも可能です。

つきましては、以下をご確認いただき、サポートプランの作成等への御理解、御協力をお願いいたします。



同意事項

※東京都フリースクール等支援事業の詳細はこちらをご覧ください

私(保護者)は、以下の事項について同意しました。なお、子供本人からも同様の事項について同意を得ています。

【サポートプランの作成等】

フリースクール等が、私及び子供本人から聞き取り等を行って、サポートプランを作成することに同意します。また、フリー スクール等が、サポートプランの作成及びそれに基づく支援に際して取得する、私及び子供の個人情報について、支援 に必要な範囲内で使用することに同意します。

【サポートプランの在籍校への提供】 ※以下、該当する欄にチェックしてください。

提供の目的:フリースクール等での活動内容や状況を在籍校と共有し、連携した支援を可能とするため

- ♥

 サポートプランのうち、以下のチェックを付けた表を、フリースクール等が在籍校に提供することに同意します。
 - ✓ A表:子供の状況について(保護者)
 - B表:子供の状況について(本人)
 - ▼ C表: フリースクール等におけるサポートの手立て
- □ フリースクール等が、サポートプランを在籍校に提供することに同意しません。

【サポートプランの東京都等への提供】

「提供の目的:フリースクール等が、東京都フリースクール等支援事業により、サポートプランの作成やそれに基づく支援に関する専門的知見を得るため 提供する項目:本同意書及びサポートプランABC表のうち、保護者氏名・子供氏名以外の内容 ※氏名の代わりに番号・配号等で表記します。

フリースクール等が、本同意書及びサポートプランについて、東京都及び東京都が本事業を委託する者に情報提供することに同意します。

※サポートプラン記載児童生徒番号 フリースクール等記載機

1-AA 🛧

【保護者署名欄】

記入日 令和7年4月8日

此人口	市和7年4月6日				
お子様氏名			在籍校名		学年
00 00			○○区立○○小学校		〇年
保護者氏名(自署)				お子様と	の続柄
ΟΟ ΔΔ				母	:

東京都へ提出する際の管理用番号・記号等です。補助対象期間を通じて、1人につき1つを使用します。 数字やイニシャル、数字と英字の組み合わせ等、管理しやすい番号・記号等を設定してください。

例)数字(連番) + イニシャル⇒1-AA イニシャルのみ⇒A.A 保護者から聞き取った内容をフリースクール等が記載します。 記入を行った職員名を記載してください。

前回作成したものがある場合は、見 直しを行ってください。 現在の状況に合わせ、更新をお願い します。

利用がない場合は、 「特になし」と記載してください。 東京都フリースクール等支援事業

サポートプラン【A表】

要領第2号様式

※本プランは「東京総フリースクール等支援事業実施要譲」で定めている「サポートプラン」であり、本プランの様式は、「東京総フリースクール等支援事業サポートプラン作成等要領」 に定めているものです。

		対象児童生徒番号	1-AA
	在籍校名		○○区立○○小学校
		学年	○年
ľ	記	フリースクール等施設名称	フリースクール〇〇
		記入者氏名	00 00
	者	電話番号	000-0000-0000
		メールアドレス	hoge@xxxxxxxxxxlg.jp

1 子供の状況について(保護者)

その他事項

		これまでの状況	・2年生の3学期頃から本人が「学校に行きたくない」と話すようになり、別室に通う形で五月雨登校 た・環由は関いても答えないが、テストの成績は少しずつ落ちているので、何かしら影響しているのかも ・クラス替えがあるので3年生から通えるようになると思っていたが、学年が上がっても「行きたくない」とは変わらない状態。別室に行ける日もあるが、登校時間に準備を促すと日によっては家で暴れること・ ・日中は家でゲームばかりしている。	しれない。 いう気持ち	
	×	社会性·情緒面	社会性:2年生までは友達と外で遊ぶことが多かったが、学校に行かなくなってかり メイトに会いたくないようであまり外にも出なくなった。 情緒面:小さいころから周りに優しく真面目な性格。少し負けず嫌いなところがあ		
		(得意なこと/好きなこと)	言われたことはすぐ覚える		
	現	(苦手なこと/嫌いなこと)	飽きっぽい。コツコツと取り組むこと		
	在の状況	学業面	成績は3年生の1学期まではどのテストも80~90点台。宿題は忘れず提出していた。		
		(得意な科目・分野/ 好きな科目・分野)	体育が得意 国語の文章題はできる方		
		(苦手な科目・分野/ 嫌いな科目・分野)	漢字や九九を覚えるのが苦手		
	/	社会資源・民間施設等の 利用状況	3年生~:担任からすすめられて教育相談室へ通っている。母子ともに月1回面哲る。今後知能検査をとる予定と伝えられている。		
		健康而に関する注意事項	アレルギー:もも、パイナップル	記入派	

・面談中、母がしきりに本人がフリースクール等へ通えるかどうかを懸念していた。

母と面談を実施した。

慣れるまで母が送り迎えをしたいとの希望あり。

同意書及び他の表に記載した 対象児童生徒番号・記号等と 同じものを記載してください。

在籍校へ共有する場合もありますので、 フリースクールの情報に記載漏れがない よう注意してください。

在籍校での状況に限らず、家での取り組みや様子などを記載ください。

- 例)家では勉強はしない。
- 例)好きな科目は取り組むが、他はやりたがらない。

記入漏れかどうかの判断がつかないため、空欄になってしまう場合は、「特になし」、「言葉にできなかった」など理由やその時の様子を記載し、空欄がないようにしてください。

B表のみ提出の場合は、 余白に在籍校とフリースクー ルの情報を記載してください。

前回作成したものがある場合は、見 直しを行ってください。 現在の状況に合わせ、更新をお願い します。

「思いつかない」「わからない」な ど明確な答えが無くても、そのまま 記載してください。

東京都フリースクール等支援事業

サポートプラン【B表】

要領第2号様式

※本プランは「東京都フリースクール等支援事業実施要編」で定めている「サポートプラン」であり、本プランの様式は、「東京都フリースクール等支援事業サポートプラン作成等要領」に定めているものです。

対象児童生徒番号 1-AA

2 子供の状況について(本人)

「ここにきてどう思った?」:なんか楽しそう。 今の気持ち 「どんな事が気になった?」:ボードゲームが気になる。 「学校についてどんな気持ちがあるかな?」:行きたくない。面白くない。 「今困っていることはある?」:わからない。特にない。 今困っていること 「学校には通いたい気持ちはある?」: (首をかしげる) 「Aさんの好きなこと教えて」:ゲーム(対戦系)、工作(父とたまに作る) 好きなこと・ 「対戦ゲームはどんなところが好きなの?」:キャラが格好いい。必殺技で倒すと楽しい。 「工作は最近どんなもの作ったの?」:ブラモデルを置く用の台を作った。工具店で板を買ってのこぎり 楽しいこと で切って組み合わせた。 苦手なこと・ 「Aさんの苦手だな~と思うこと教えて」:勉強はしたくない。 嫌いなこと 「漢字や九九が苦手と聞いたけど、どんな風に難しい?」: 何回やっても覚えられない。 暗記できな い。授業中に先生から「どうした? (できないのかというニュアンスで)」と言われて嫌だった。 (したくないこと)

3 通所に当たっての今後の希望等

本人 ゲームをして過ごしたい。遊びたい。
家以外の活動場所がなく、お互いギスギスしてしまう。
学校に行けなくなったきっかけが少しずつ分かると助かる。

4 将来の進路についての希望

本人まだ決まっていない。

保護者 将来の選択が広がるように高校までは出て欲しい。

同意書及び他の表に記載した 対象児童生徒番号・記号等と 同じものを記載してください。

質問と回答があると、より聞き取りの様子がイメージしやすいです。

記入漏れかどうかの判断がつかないため、空欄になってしまう場合は、「特になし」、「言葉にできなかった」など理由やその時の様子を記載し、空欄がないようにしてください。

東京都フリースクール等支援事業

サポートプラン【C表】

要領第2号様式

※本ブランは「東京船フリースケール等支援事業実施要額」で定めている「サポートブラン」であり、本ブランの様式は、「東京船フリースケール等支援事業サポートブラン作成等要領 Iに定めているものです。

対象児童生徒番号		1-AA	
在籍校名		○○区立○○小学校	
学年		〇年	
	フリースクール等施設名称	フリースクール〇〇	
記入	記入者氏名	00 00	
者	電話番号	000-0000-0000	
	メールアドレス	hoge@xxxxxxxxxxx.lg.jp	

フリースクール等におけるサポートの手立て

前回作成したものがある場合は、見 直しを行ってください。 現在の状況に合わせ、更新をお願い します。

		サポートの方向性	・もともとの社交性が発揮できるようになる。・安心して活動に挑戦できるようになる。
サポートの手立て	-	223	・場に慣れていくためにスタッフが一緒に活動へ参加する。 ・活動を通して他の人たちの過ごし方を見る機会を作る。
	Ø	人との つながり	・他の子供と話す機会ができるように興味のある活動に誘う。 ・活動の中で何かしらの役割を担当してもらう機会を作る。
		学び	・制作や調理実習、外遊び等の体験学習に参加し、新しい経験に触れる機会を作る。
		所感 (サポート上の工夫や 気づいた点等)	面談開始時は緊張した面持ちで、スタッフからの問いかけに母を介して返答していました』が、途中からは本人から返答してくれました。人や場所に慣れて、本人が行動の見通しを持てるようになることが、安心感のある活動に繋がると思いますので、その点を心がけて活動をしていきます。

保護者確認欄は全て記入してください。 ※都への提出時には、「保護者氏名」欄 が見えないように加工してください(画 像内網掛け部分が該当)。

※確認日、確認方法はそのまま記載してください。

<保護者確認欄> ※年度末までの継続的な通所を強制するものではありません。

本サポートプランの内容を確認し、フリースクール等が提供するサポートの手立てについて同意します。

確認日	確認方法
令和7年7月9日	メールにて確認
	保護者氏名
	00 ΔΔ

同意書及び他の表に記載した 対象児童生徒番号・記号等と 同じものを記載してください。

在籍校へ共有する場合もありますので、 フリースクールの情報に記載漏れがない よう注意してください。

サポートの手立ては、子供一人一人の状況 や特性に合わせて作成してください。 項目の説明やこの他の記載例については、 HPに掲載している「サポートプランの手 引き」を参照してください。

スクール側の所感を記載します。 保護者や関係機関が読むことを想定し、子 供の強みやがんばりを伝えたり、サポート の手立てを補えるようなコメントを記載し てください。

「面接時に書面で確認」「連絡アプリ〇〇 にて確認」など、保護者が確認した日付と 方法を記載してください。

保護者が後から見直せるよう、記録の残る 方法で確認してもらってください。